

令和8年度 大阪府立豊中支援学校 第2回 学校運営協議会記録

- 1、日時：令和8年9月16日（水）10：00－11：45
- 2、場所：本校調理室
- 3、構成：＜ 委員 ＞ 早野委員長、徳山委員、西林委員、大谷委員、長岡委員  
 ＜事務局＞ 校長、准校長、教頭2名、事務長、首席3名、教員2名  
 ＜ 傍聴 ＞ なし
- 4、内容

|       |                                                                                                                          |                                                         |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 10:00 | 第2回協議会次第説明<br>校長挨拶                                                                                                       | ( 事務局 )<br>( 校 長 )                                      |
| 10:05 | 報告及び協議、質疑応答<br>・学校経営計画に関する進捗報告<br>→「防災防犯対策 マニュアル改善」<br>→「食物アレルギーの実践報告」<br>・令和8年度キャリア教育全体計画<br>・学校教育自己診断、学校生活アンケートの実施について | ( 委員長 )<br><br>(安全指導部)<br>(特配委員会)<br>( 首 席 )<br>( 首 席 ) |
| 11:35 | 事務連絡<br>准校長挨拶                                                                                                            | ( 事務局 )<br>( 准校長 )                                      |

上記のとおり報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

学校経営計画に関する進捗報告

◎防災防犯対策 マニュアル改善について

＜学校より＞

- ・マニュアルの改善については、数種類あるマニュアルを一本化していく。また、熊本地震をうけて助言をいただいたので、マニュアルに反映させる。
- ・避難訓練における保護者への引き渡し訓練について、令和9年度の実施に向けて検討中。
- ・防犯対策については、夏季休業日に防犯訓練を行い、警察署から助言をいただいた。入校時のチェック事項を再確認するとともに、施設・設備面においては、不備がある箇所を修繕したり、全職員に笛を購入したりした。校内で合図を出し合い、不審者の動向を共有するなど、迅速に状況把握できるようにしていく。

＜委員より＞

- ・学校の安全な環境づくりにおいては、PTAの取り組みで、今年度も飛散防止シートを貼った。未貼付の場所も残り少なくなってきた。各教室においては鍵が開錠しにくい箇所がある。また、学校にはたくさんの木がある。高さのある木も多い。50周年を記念して植樹もしたが、学校外からの見通しをよくするために剪定するなどの手入れも必要。
- ・防災対策においては、個人備蓄品をお預かりするためにPTAから備蓄用袋を各家庭へ配付している。
- ・通学バス乗車中に災害に遭うと、長時間対応も考えられる。介助員の体調や備品の備えについても気になる。
- ・放課後等デイサービスや地域との連携をどういう形で進めていくかが大事である。
- ・火災の時、豊泉家や近隣の小学校へ避難する案は良い。
- ・昨今、想定外の事が想定内になりつつある。いつ起こるかによって対応もかわってくるだろう。

- ・訓練していても有事の際にはできないことが多い。やれることをやっていくしかない。
- ・大阪教育大学が取り組んでいる「セーフティプロモーションスクール（SPS）をホームページにあげている。参考にしてみてください。

#### ◎食物アレルギーの実践報告について

##### <学校より>

- ・特配委員会とは、「特別な配慮を要する児童生徒に対する検討委員会」を略したもの。アレルギーや病態、医療的ケア、その他保健や給食などが関わることで、学校での対応が必要な児童生徒の対応方法を話し合う会議である。児童生徒によって状況や病状、必要な対応が変わってくることもあり、その都度委員会メンバーで最善の対応方法を話し合っている。子どもたちの安全安心のために検討をしているが、安全安心を優先することで、子どもたちの体験の機会や学びの場が損なわれることがないように、教育的かどうかの視点をもちながら、子どもたちの笑顔を守るために最善の対応を考えている。

##### <委員より>

- ・子ども同士が同じ空間で食の体験ができるなど、安全で安心できる環境をつくっていただき感謝している。
- ・学校医と主治医の意見が違ふこともあり、調整が難しいと思う。
- ・食べられないものを申告できるようになったり、苦手なカレーを給食では食べられるようになったりするなど、学校給食での経験が大きい。

#### 令和8年度キャリア教育全体計画について

##### <学校より>

- ・今年度は新校開校を見据えた全校的なキャリア教育実践の推進ということで、今後の支柱となる取り組みを模索していくことを挙げている。
- ・今年度の活動報告として、「キャリアの観点に沿った指導の重点目標（自ら選択・思いを発信・お互いを大切に・仲間と仲良く協働）」を意識して取り組むことができるように毎週テーマを決めて発信している。また、それらを振り返る日も設けている。
- 引き続き、三学部の一貫性・継続性・系統性を考慮した本校全体のキャリア教育実践の支柱となりうる活動を模索中である。
- ・ICT 機器（床投影のプロジェクターシステム DIDIM）の紹介。幅広い教育効果が見込める。

##### <委員より>

- ・細かくアクションを組んでいると感じる。小学校ではここまで細部にはできていないので参考になる。学年団に任せているところも多いので、このように各分掌が関わってのキャリア教育は必要だと感じる。
- ・豊中市の一部の地域では、キャリアパスポートを校区内で統一する動きもある。
- ・卒業後も、子どもらしく豊かな人生と社会自立という点につながっていく。今までやってきたことがキャリア教育に位置付けられ、これまでの本校での取り組みが今でも継承されている。今後の取り組みも期待している。
- ・キャリア教育の取り組みが、イベントで終わっている事例も地域の学校にはある。例えば、自立活動や各教科とのつながりをどう結び付けていくか、という理屈がしっかりしていることが大切だと思う。
- ・保護者はキャリア教育について理解できていないことが多い。キャリア教育とは何かを互いに勉強して理解できると、もっと子どもの成長に携わることができ、成果に結びつけることができると思う。
- ・今年度の豊中フェスティバル開催に向けて、PTA ブースで必要な装飾や缶バッジの作成を高等部に発注した。快く引き受けてくれ、全面的に協力をいただいた。教員からも「自分たちの仕事」ということ

で喜んで取り組むことができるだろう、と言葉をもらっている。子どもたちの活躍を PTA の会報誌でも紹介していき、みんなで褒めていけたらと思う。

- ・キャリア教育について、職員の理解は定着してきている。良い取り組みをされているので引き続き保護者に伝えていってほしい。

#### 学校教育自己診断、学校生活アンケートの実施について

< 委員より >

- ・保護者の回収率を上げる工夫として、PTA から学年委員のネットワークを活用して各学年の保護者へ働きかけていくことはできる。
- ・保護者の設問より、「先生は子どもの障がいを理解している」とあるが、「障がい」という言葉は必要か？一人の“子ども”を視点に考えられるように幅広く捉える設問にしてはどうか。
- ・教員へのフィードバックをした際に意見や反応はあるのか？  
→分掌に関わる点、部主事などの立場の教員、もしくは個人面談時に話をもらうことがある。  
前向きな意見をもらうこともある。

#### 全体を振り返っての感想・意見

< 委員より >

- ・保護者に信頼していただけるように、安全で安心な学校、そして子どもたちがいきいきと元気に楽しく過ごせる学校にしていってください。
- ・新しい取り組みも検討されていて、今後も期待している。